

ひきじだい

令和5（2023）年3月24日

弥生（3月）春休み号

大和市立
引地台小学校



卒業式を終えて

校長 箱崎 勝美

芽吹きをもたらす春を迎える度に、「植物は、蓄積温度が満ちて発芽する」という言葉が浮かびます。厳しい寒さに耐えて、いよいよ開花の季節になりました。春は、変化の時期でもあり、節目の時でもあります。

さて、本年度も新型コロナウイルスの感染拡大の防止をしながらの中ではありましたが、3月20日（金）、6年生が、卒業生として引地台小学校を巣立っていきました。緊張する中で、堂々と卒業証書を受け取ることができました。卒業生には次のような話を式辞の中で贈りました。

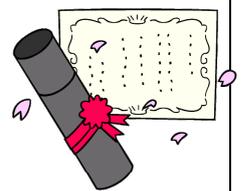
学校のシンボルツリーであるこぶしの木の白い花が開き、校庭の桜の花もたくさん咲き、今日の卒業生のみなさんをお祝いしてくれています。皆さんの姿を、学校のこぶしの木も、さくらの木も誇らしい気持ちで見ていることと思います。

さて、みなさんには、私から次のようなおすすりめをしたいと思ひます。

まず、「感謝の気持ちをおれなひ」といふことおです。自分お常お周おの人々おの関わりおの中お生かさおれていふこと、言い換えおれば、決して一人おではないといふことおです。3月に道徳おの授業お、お話しおたように皆さんおがここまお成長おできたおのも、たくさんおの人たちおの「支えおる手」おがあつたからおです。その方々おに感謝おの気持ちおをもつて、「ありがたう」といふ言葉を伝えて欲しいと思ひます。

現在、注目おされていふる世界野球（WBC）にお出場おしている村上宗隆選手おは、小学校おの時の卒業文集おに「WBCおで日おの丸おを背負おいたい。」お書おいたそうおです。しかし、中学、高校時代おに、日本代表おを逃す挫折おを経験おしますが、その経験おを経て、プロおでは史上最年少、三冠王おに輝く結果おを実現おさせ、念願おのWBCおで日本おの代表おとして活躍おしていふます。村上選手おの言葉おの中に「9回、失敗おして味わう苦しさおの分だけ、1回おの成功おが、より一層うれしくなひますし、『失敗おは成功おのもと』おではないおのですが、その言葉通りおだなあと思ひます。」

卒業生おの皆さん、「あきらめなひ心」おで、夢おを持ち続おけてください。そして、中学校生活おの中で、夢おをもつだけおではなく、「夢おをかなえる力」おも、身に付けていってください。まづは、失敗おを恐れずおに挑戦おしてください。みなさんおの10年お後、とても楽しみおです。小学校おでのうれしおかつこと、楽しおかつことを大切おにして、未来おへ羽ばたおいて、欲しいと思ひます。



一年間おを振り返ると、子どもたちは大きく成長おしました。4月からは、一学年おずつ進級おします。今まおで身につけた力おを活かして、新しい学年おで、ぜひ活躍おして欲しいと思ひます。また、引地台小学校おの子どもたちおを支えてくださつた保護者おの皆様、地域おの方々、本当おに一年間おありがたうござおいました。

教職員一同、心より感謝おを申しあげます。



2023/03/20 09:53